参加者
大募集！！

１人での
参加可
（１対１の個人戦）

第４回仙台市
障害者ボッチャ大会

参加費無料

日程　令和６年４月２７日（土）９:００～（予定）

会場　新田東総合運動場 宮城野体育館　メインアリーナ

対象　市内在住・通勤・通学している肢体不自由の方

※障害内容により出場区分が異なります。
※該当区分の確認は裏面のフローチャートをご活用ください。

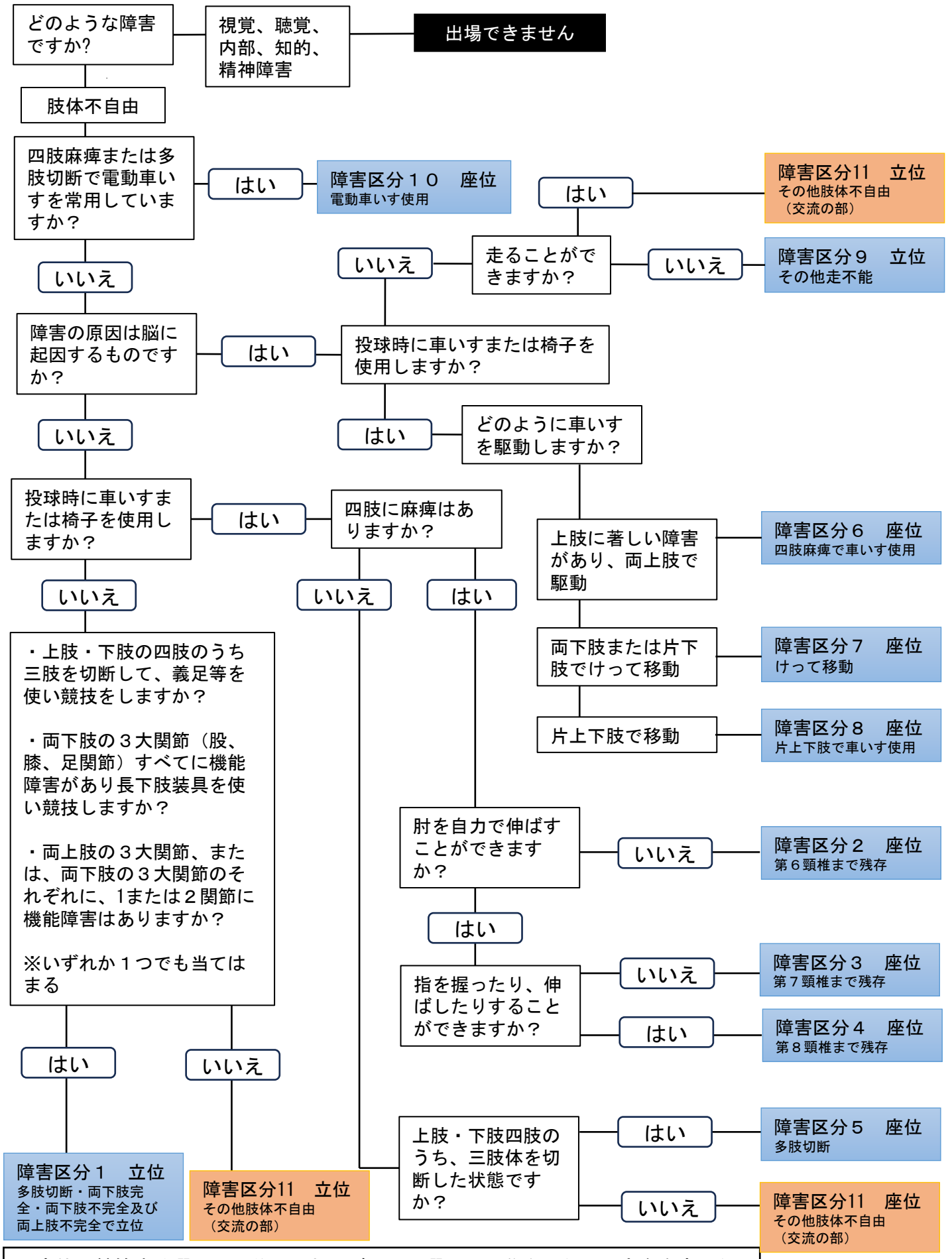
交流の部　新設
肢体不自由者の方であればどなたでも参加可能
（定員１６名）

申込期間　令和６年３月１日（金）～４月５日（金）

【仙台市障害者ボッチャ大会　とは・・・？】
障害がある方（肢体不自由者）を対象にしたボッチャ大会です。
大会は正式なルール（全国障害者スポーツ大会競技規則を準用）で行います。これまで大会などに出場したことがない方でも、普段の活動で行っている、施設で取り組んでいるといった経験があれば、楽しくプレイすることができます。
また、全国障害者スポーツ大会（2024年は佐賀県開催）の仙台市代表選手を選考する大会にもなります。
※選考方法は全国大会参加意向のある者の中から本大会の成績の他、出場経験等を考慮し選考されます。

主催：仙台市、（一社）仙台市障害者スポーツ協会　共催：仙台市障害者福祉協会

ボッチャ競技　障害区分フローチャート



※座位で競技する選手（区分2～8および10）の選手で、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者及びランプ使用者について、選手1名について1名の競技アシスタントまたはランプオペレーターを認める。

仙台市障害者ボッチャ大会

●出場区分について

「選考の部」　<u>定員　なし</u>（エントリー者全員参加可）

・全国障害者スポーツ大会の出場対象障害の方は「選考の部」へエントリー下さい。
　※対象障害は別途、障害区分フローチャートをご確認ください。
　※障害区分　「１～１０」までが「選考の部」となります。

・大会参加時に全国障害者スポーツ大会への参加意向を伺います。
　※対象障害の方は全て「選考の部」へエントリーして下さい。

「交流の部」　<u>定員　１６名</u>

・全国障害者スポーツ大会の出場対象障害以外の方で肢体不自由の方は「交流の部」へエントリー下さい。
　※対象障害は別途、障害区分フローチャートをご確認ください。
　※障害区分「１１」が「交流の部」となります。
　※試合は立位・座位が混合になる場合があります。

・定員　１６名となります。定員を超えるエントリーがあった場合、抽選となります。

・今大会（仙台市障害者ボッチャ大会）にはオープン参加となるため、宮城県・仙台市障害者スポーツ大会の他の競技への参加が可能です。（例：フライングディスク大会や陸上大会への参加可）

「仙台市代表選手選考について」

・「選考の部」へエントリーした方の中で、満１３歳以上の方で、全国大会出場希望者の中から今大会の成績・出場経験等を考慮の上、別途開催される選考委員会において代表選手候補が決定されます。

・選考される選手は全国障害者スポーツ大会がペア戦「座位」１名、「立位」１名で行われるため、「座位」１名、「立位」１名、計２名が選考されます。

・その他、代表選手に選考された場合、強化練習会（１回）、強化合宿（１泊２日）（９月中旬）にご参加いただきます。

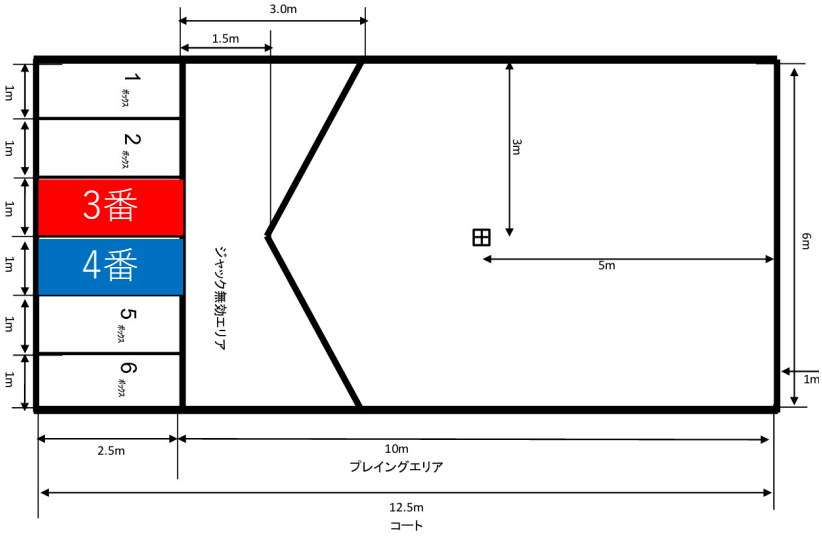
・今年度の全国障害者スポーツ大会（佐賀県）は１０月２６日～２８日に開催され、仙台市選手団は、「１０月２４日～２９日」の日程で派遣する予定となります。

・派遣に関わる選手、役員の旅費等を含む費用については、予算の範囲内で仙台市が負担します。

仙台市障害者ボッチャ大会

●競技方法

・コートの大きさは、12.5m×6m
・投球ボックスは３番と４番を使います。



・１対１の個人戦とし、１組３名～４名のリーグ戦で行います。
・リーグ戦は「立位の部」、「座位の部」に分かれて実施します。
　※参加者状況により立位・座位混合になる場合があります。
・選考の部は、１試合　４エンド行います。※参加者状況により２エンドになる場合があります。
・交流の部は、１試合　２エンド行います。
・４エンドの総得点で勝敗を決めます。
・先攻・後攻はコイントスで決め、先攻が赤ボールとなります。
・１エンドの投球時間は、選手それぞれ５分以内に全てのボールを投げ終える必要があります。
・同点の場合はファイナルショット（タイブレイク）を行います。

◆ファイナルショットとは◆
コート中央のクロスにジャックボールを配置しそれぞれ１球を投球して、ジャックボールにより近いボールを投球した選手が勝ちとなる。

●違反行為

・コートのラインを踏む、ボックスの外に足や補装具、ランプの先端が前のラインを出た場合
　但し、ランプの先端が横のラインを越えた場合は違反にはなりません。
・審判の指示がある前（自分の色のパドルが示される前）に投球した場合。
・ランプを使用する選手のランプオペレーターが、試合中のコートを見た場合等

●競技アシスタント・ランプオペレーター

車いす使用者のうち、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者及びランプ使用者について、選手1名について1名の競技アシスタントまたはランプオペレーターが認められます。

仙台市障害者ボッチャ大会

●競技用具について

・大会で使用するボールは大会主催者で用意したボールをご使用できます。
　また、ご自身で用意したボール（公認球のみ）を使用することも可能です。
・ランプは大会主催者から貸出可能ですが、その他の投球補助具はご自身でご準備ください。

●ランプ以外の投球補助具について

・ポインター（ランプにセットされたボールをリリースする際の用具）は、選手が直接装着します。（頭部、口、腕、脚など）
・グローブの使用を認めます。

●試合の流れについて

招集

・試合前に招集を行います。選手、競技アシスタント等は招集場所に行きます。
・招集時に投球順を決めるコイントスを行います。（先攻の選手が赤、後攻の選手が青のボールになります。）
・選手の意思表示の方法、配慮事項について確認を行います。

試合

・招集場所からコートへ入場します。
・試合開始前に２分間の投球練習を行います。
・第１エンドは赤ボールの選手がジャックボールを投げます。第２エンドは青ボールの選手がジャックボールを投げます。（３，４エンドも同様に交互）

●選手が試合中にできること（意思表示）

・自分の持ち時間の残り時間の確認
・コート内のボールの位置の確認（コート内に入ることができる）
・残りのボールをこれ以上投球しない。

※意思表示の方法は以下の中から試合前に審判が確認を行います。

①選手が 口頭で行う	②選手が ジェスチャーで行う	③ランプオペレーターまたは、 競技アシスタントを通じて行う。

※意思表示の時間は全て、自分の持ち時間内に行います。
※③の時、ランプオペレーター等は挙手にてアピールを行います。その時にランプオペレーターはコートの中を見ることはできません。

◆その他の配慮事項（選手は必要なことを招集時に審判へ伝えることができます）

・車いす使用者で床にあるボールを取ることが困難な時、膝の上に置いてほしい。
・ボール確認の場面で自力で行くことが難しい時、車いすを押してほしいなど。